

まえがき

先端科学研究所

所長 丹羽 修

埼玉工業大学先端科学研究所は平成 12 年 4 月に設立され、埼玉工業大学の工学系と情報社会関連の人文系の文理融合活動拠点として設置されています。現在、研究所には、AI 研究センター、臨床心理センター、産学官交流センター、科学と仏教思想研究センターと国際交流研究センターの組織があり、科学技術関連の研究と地域支援、仏教思想科学研究、産学官連携および国際交流などの幅広い分野にかかわる研究と事業を推進しています。

今年度、コロナウイルスワクチンの複数回接種が進んだこともあり、8 月 9 日の若手研究フォーラムは、2019 年度以来久しぶりに 2 名の基調講演の先生を学内に招待し、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。また、昨年度より実施している会場でのプレゼンテーションとポスターセッション、オンライン配信のハイブリッド型の開催を引き続き行いました。

また、科学と仏教思想研究センターでは、計 5 回の研究会をオンラインで実施し、そのメリットを最大限に生かして遠方の講師の先生からもご講演頂いております。AI 研究センターも、2 回の講演会をハイブリッド型で実施し、最近の同分野の話題を紹介することができました。

一方、国際交流研究センターでは、ベトナムダナン大学とのオンラインの交流会を昨年 3 月に引き続き実施し、本学、ダナン大よりエネルギー、環境などの分野の研究成果をそれぞれ紹介しました。

更に、先端科学研究所の臨床心理センターは、積極的に地域への貢献と心の科学などの研究を通して、社会科学分野においても貢献をしています。また、企業との産学・地域連携を促進するために先端科学研究所は、本学の研究シーズを積極的に埼玉県北部の商工会や企業に説明することを目的に産学官交流センターを中心に活動を行っています。今年度は、特に講演会に力を入れ、ハイブリッド型の講演会を 3 回実施するとともに、県内の展示会にも積極的に研究成果を出展しています。一方、今年度は、学長主体のプロジェクトとして専攻、研究室を横断するクリーンエネルギーのプロジェクトを開始しました。地元の農業関係の法人との連携研究もスタートしています。また、昨今の技術輸出や研究倫理の厳格化に伴い、それぞれ、安全保障輸出管理研修会や研究倫理コンプライアンスの研修会に外部講師をお招きして、それぞれ年 1 回実施しました。

以上の様に、埼玉工業大学先端科学研究所はその特色を生かしてこれからも「若手研究者育成」「地域貢献」と「国際交流」の三本柱を支える研究活動を発展して行きたいと考えております。

今後とも、皆様方のご指導とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。